



巻頭言

大学院重点化

鈴木 胖*



大学改革の一貫として、理学部、工学部、基礎工学部で大学院重点化が進行中である。グローバル化、情報化という言葉に代表されるように、世の中の変化が激しく技術の進歩が急速なので、大学で学んだ専門知識はすぐに陳腐化してしまう。一方で、4年制大学への進学率は30%を越え、学部教育は今や普通の高等教育となりつつある。企業は世界的な大競争時代を生き抜くため、これまで以上に、高度な専門能力を持つ人材を必要としている。

大学院重点化はその名の示すように教育・研究の重点を学部から大学院に移すことであり、大学院の大幅な整備・拡充がはかられる。教官は大学院に所属し、学部を兼任することになる。

上のような世の中の動きを考えると、大学院重点化大学では学部は一般教育と専門基礎教育に重点を置き、大学院では高度専門教育を行うという切り分けが必要である。大学

院ではこれまで学者や研究者養成に主眼が置かれてきたが、これからは高度の専門能力を持つ職業人の養成にも力を入れる必要がある。また専門的知識の陳腐化に対応するため、社会人の受け入れも積極的に行わなければならない。研究を通してのオン・ザ・ジョブ的な教育に加えて、カリキュラムそのものの充実が必須である。

時代に即した適切な高度専門教育を行うには、教官自身の研究を通しての洞察力、知識や経験の蓄積が必要である。研究も教育もということで大学院の教官の責務はこれまで以上に重くなる。これを果たすには教育における教官の役割分担の見直し、コンピュータ援用教育の導入、ティーチング・アシスタントの活用、外部機関との連携教育など広い意味での教育の合理化を進めていかなければならない。

大学院重点化は理学部については2年計画で平成8年度に完了、工学部については4年計画で平成10年度までかかり、基礎工学部は平成8年度と9年度に分けて行われる予定である。学内だけでなく、外からも貴重なご意見やご助言が寄せられることを期待している。

* Yutaka SUZUKI
1934年8月23日生
昭和35年大阪大学大学院工学研究科修士課程
電気工学専攻
現在、大阪大学工学部情報システム工学科教授、
工学部長、工学博士、システム工学
TEL 06-879-7201
FAX 06-879-7210
E-Mail suzuki@ise.eng.osaka-u.ac.jp